

## 2 中学校

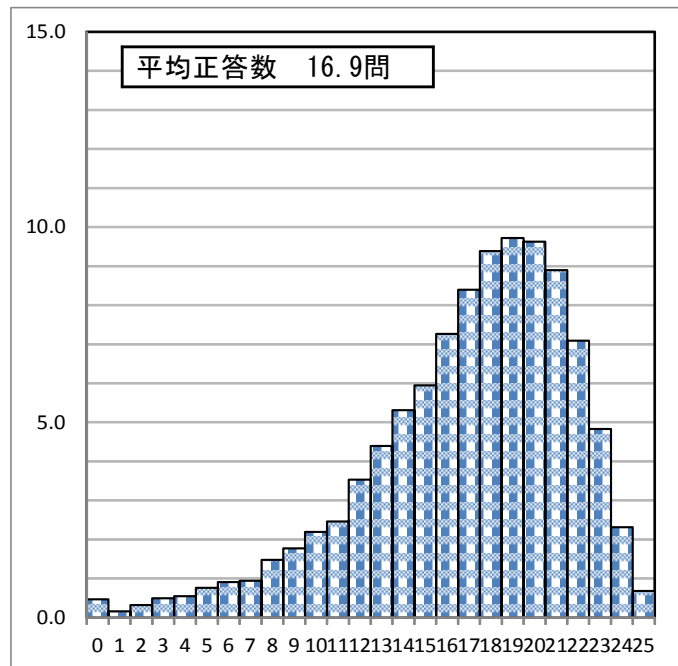
### (1) 国語

#### 【第1学年】

実施生徒数	10,181 人
設問数	25 問
平均正答率	67.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	71.2
	主として「活用」	11	63.3
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	58.9
	書くこと	2	52.5
	読むこと	9	69.1
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	12	70.7
評価の 観点	話す・聞く能力	2	58.9
	書く能力	2	52.5
	読む能力	9	69.1
	言語についての 知識・理解・技能	12	70.7
問題形式	選択式	10	73.9
	短答式	12	67.3
	記述式	3	48.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



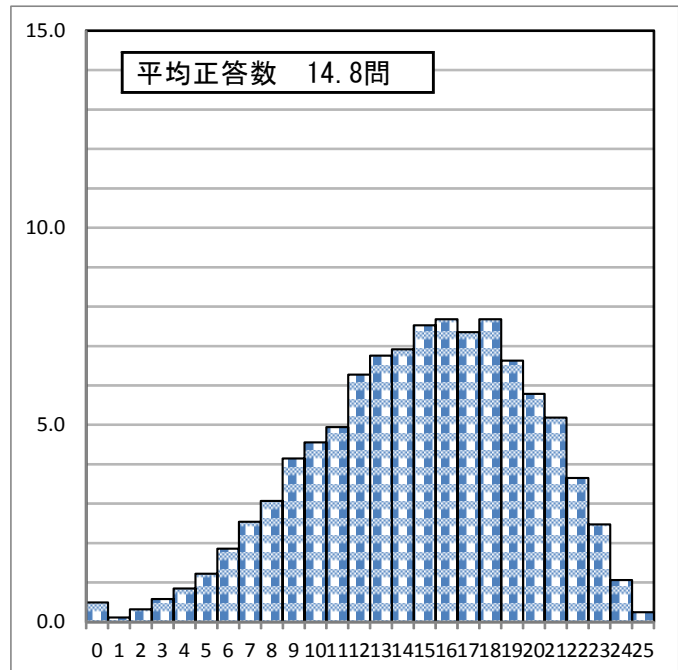
(全ての設問を実施した生徒について算出)

#### 【第2学年】

実施生徒数	10,416 人
設問数	25 問
平均正答率	59.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	60.2
	主として「活用」	9	57.6
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	81.3
	書くこと	3	44.0
	読むこと	6	56.8
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	14	60.5
評価の 観点	話す・聞く能力	2	81.3
	書く能力	3	44.0
	読む能力	6	56.8
	言語についての 知識・理解・技能	14	60.5
問題形式	選択式	13	71.3
	短答式	9	47.0
	記述式	3	44.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 1・2年生において、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、相当数の生徒ができています。

(中1 **1**一い : 94.4%) (中2 **1**一 (1) : 97.1%、**1**一 (2) : 86.3%)

- 1年生において、時と場に応じて、適切な敬語を使うことについては、相当数の生徒ができています。(中1 **3**二 (2) : 86.9%)

- 2年生において、知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問することについては、相当数の生徒ができています。(中2 **5**二 : 87.0%)

- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題が見られる。

- ・「せいせき (成績)」(中1 **3**一 (2) : 44.7%)

- ・「はってん (発展)」(中1 **3**一 (3) : 64.3%)

- ・「しじ (支持)」(中2 **4**一 (2) : 26.2%)

H30 中3 全国調査A **8**一3 「ゆるす (許す)」(県平均) 73.0% 「文脈に即して漢字を正しく書く」

- 1年生において、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることに課題が見られる。(中1 **1**四 : 37.3%)

- 2年生において、内容を的確に捉え必要な情報を取り出すことに課題が見られる。(中2 **2**二 : 49.9%、**2**三 : 29.1%)

H30 中3 全国調査A **5**二 (県平均) 61.4% 「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」

- 2年生において、古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えることに課題が見られる。(中2 **3**二 : 19.5%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

**国語【中学校 1・2 年生】**

(中学校 1 年生)

- 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることに課題が見られる。

③ 「どうも変ですね」とありますが、宇宙人はどのようなことを変だと言っているのですか。次の条件 1 と条件 2 にしたがって書きなさい。

条件 1 「子供たちが自分たちからお願いしたことなのに、」という書き出しに続けて書くこと。

条件 2 50 字以上、60 字以内で書くこと。(解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。)

(略)「それで見つかったのか、約束の相手たちは。」  
「見つけはしましたが、どうも変ですね、この星の連中は。」  
「<sup>③</sup>いったい、どうだったんだ。」  
「すっかり忘れているのです。そこで、こっちから言いだしてみたのですが、太っ腹をなでながら、だれもがこんな返事でしたよ。ああ、こんなこともあったかな、だが、そんな約束はなかったことにして、いまさらよけいなことはしないでくれ、とね。」  
(星新一 「約束」による)

**【正答例】**

(子供たちが自分たちからお願いしたことなのに、) 約束を忘れていたり、いまさらよけいなことはしないでくれと言ったりしたこと。

正答率：37.3%

(中学校 2 年生)

- 内容を的確に捉え必要な情報を取り出すことに課題が見られる。

② 「実際の時間の経過に、自分の生命の回転速度がついていけない」とは、どういうことか。次の文の( ) にあてはまる言葉を、文章中から十五字で書き抜きなさい。

実際の物理的な時間はいつでも同じスピードで過ぎていくのに、  
( ) ということ。

**【正答】** 体内時計は徐々にゆっくりと回る

正答率：29.1%

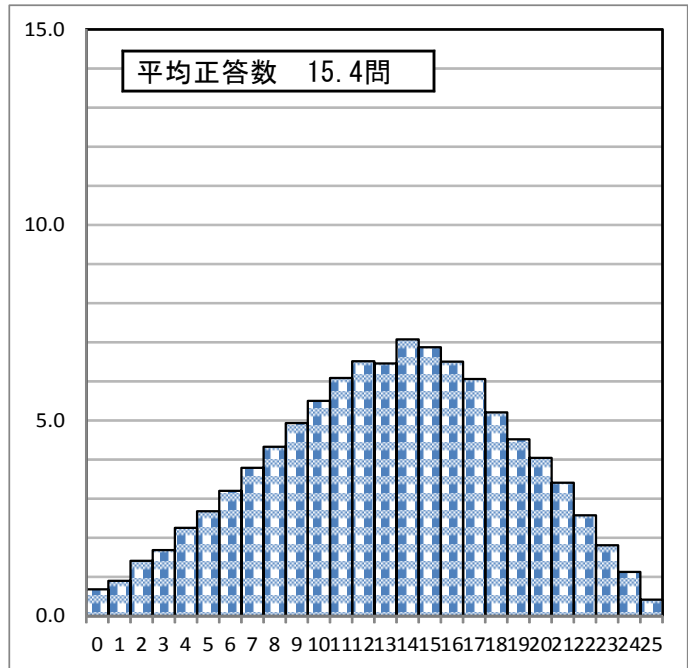
## (2) 数学

### 【第1学年】

実施生徒数	10,121 人
設問数	24 問
平均正答率	64.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	67.9
	主として「活用」	7	54.4
学習指導 要領の 領域等	数と式	15	64.5
	図形	4	60.0
	関数	2	70.1
	資料の活用	3	62.4
評価の 観点	数学的な見方や考え方	5	47.5
	数学的な技能	14	66.2
	数量や図形などについての 知識・理解	5	74.3
問題形式	選択式	6	69.9
	短答式	16	63.3
	記述式	2	51.6

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



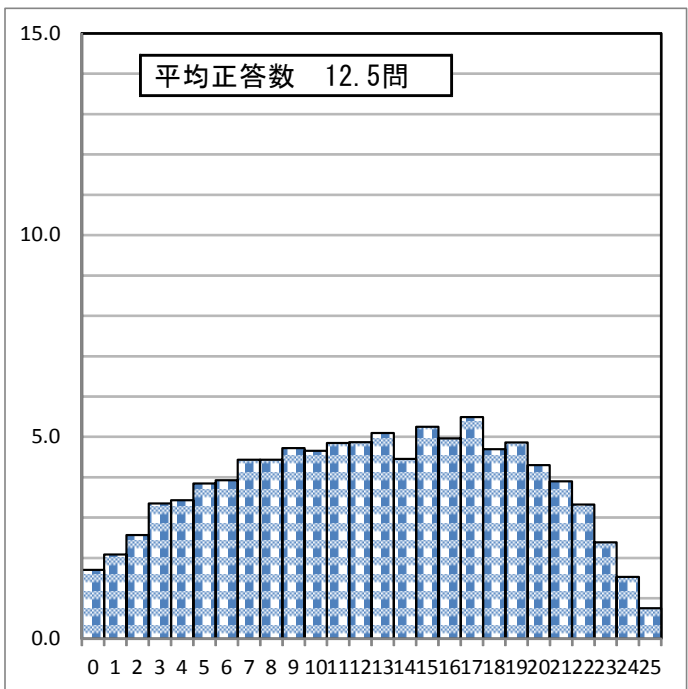
(全ての設問を実施した生徒について算出)

### 【第2学年】

実施生徒数	10,426 人
設問数	25 問
平均正答率	50.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	53.1
	主として「活用」	6	40.3
学習指導 要領の 領域等	数と式	12	53.1
	図形	6	35.4
	関数	5	56.7
	資料の活用	2	58.9
評価の 観点	数学的な見方や考え方	4	31.5
	数学的な技能	14	51.6
	数量や図形などについての 知識・理解	7	57.6
問題形式	選択式	5	55.4
	短答式	18	51.5
	記述式	2	23.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

### 【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な内容の理解に、おおむね成果が見られる。
  - ・分数の乗法の計算をすること (中1 1)(1)88.0%)
  - ・絶対値の意味を理解すること (中1 1)(4)82.0%)
  - ・正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解すること (中1 1)(5)80.1%)
  - ・長方形の縦と横の長さの比から、横の長さを求めること (中1 2)(2)80.8%)
  - ・比例の意味を理解すること (中1 4)(1)82.9%)
  - ・展開図から立体を読み取ること (中1 5)(1)87.6%)
  - ・度数分布表を理解すること (中2 9)(1)87.4%)
  
- 与えられた情報を読み取り、分類・整理することに、おおむね成果が見られる。
  - ・二次元の表を用いて、情報を分類・整理すること (中1 8)(3)80.9%)
  
- 具体的な場面で考察の数量の関係を見出すことに、おおむね成果が見られる。
  - ・考察の対象になっている数量を明確に捉えること (中1 9)(1)85.8%)
  
- 基本的な内容の理解に課題が見られる。
  - ・整式の減法の計算をすること (中1 2)(1)49.1%)
  - ・円柱の表面積を求めること (中2 6)(1)25.1%)
  - ・比例の関係を式に表すこと (中2 3)(2)38.2%)
  - ・折り目の線分の特徴を理解し、適切な作図方法を選ぶこと (中2 5 44.1%)
  
- 割合や比例の関係を用いて、数量を求めることに課題が見られる。
  - ・基準量を基に比較量を求めること (中1 3)(2)43.3% 中2 2)(5)50.7%)
  - ・半径の異なる二つの円の円周の長さを比較すること (中1 5)(2)20.7%)
  
- 文字を用いた式で表すことに課題が見られる。
  - ・商、積、余りの関係を文字式で表すこと (中1 3)(1)37.3% 中2 2)(2)35.6%)
  - ・求めたい数量を式を使って表すこと (中1 9)(2)32.5%)
  - ・2桁の自然数を文字式で表すこと (中2 2)(6)49.7%)
  - ・文字を用いて立体の体積を表すこと (中2 8)(1)17.7%)
  - ・与えられた情報を適切に処理し、立式すること (中2 10)(2) 8.5%)
  
- 与えられた情報を正確に読み取り、筋道を立てて考えることに課題が見られる。
  - ・複数の条件がある組み合わせを求めること (中1 8)(2)38.1%)
  - ・与えられた情報を適切に処理すること (中2 10)(1)56.2%)
  
- 問題解決の方法を説明することや理由を説明することに課題が見られる。
  - ・事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて説明すること (中1 9)(3)43.1%)
  - ・立体の体積の大きさの違いを求める方法を説明すること (中2 8)(2)16.1%)
  - ・判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること (中2 9)(2)30.4%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

**数学【中学校1・2年生】**

(中学校1・2年生)

- 商、積、余りの関係を文字式で表すことができる。

ある数を3で割ると、商が $a$ で余りが2になります。ある数を、 $a$ を用いた式で表しなさい。

**【正答】**  $3a+2$

中1正答率：37.3% 中2正答率：35.6%

(中学校1年生)

- 事象における数量の関係を式で表したり、事柄が成り立つ理由を説明したりすることに課題が見られる。

9 図1のように、ストローを並べて、正方形を $n$ 個つくるのに必要なストローの本数を考えます。

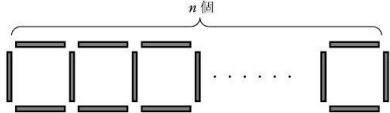


図1

例えば、図2のように正方形を3個つくるのに必要なストローは10本です。

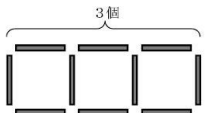


図2

次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 正方形を5個つくるのに必要なストローの本数を求めなさい。

(2) 図3のようにストローを囲むと、正方形を $n$ 個つくるのに必要なストローの本数は、次の説明1のように説明できます。

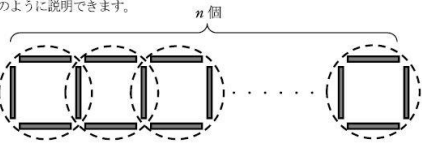


図3

説明1

ストローを図3のように囲むと、1つの囲みにストローが4本ある。その囲みが $n$ 個あるので、この囲みで数えたストローの本数は $4n$ 本になる。このとき、2回数えているストローが $(n-1)$ 本あるので、必要なストローの本数は $4n$ より $(n-1)$ 本少ない。したがって、正方形を $n$ 個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $A = 3n+1$ になる。

アにあてはまる式を、 $n$ を用いて表しなさい。

(3) 図4のように囲み方を変えてみると、正方形を $n$ 個つくるのに必要なストローの本数は、 $3n+1$ という式で表すことができます。正方形を $n$ 個つくるのに必要なストローの本数を表す式が $3n+1$ になる理由について、下の説明2を完成しなさい。

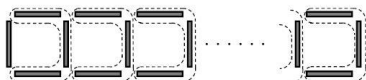


図4

説明2

ストローを図4のように囲むと、  
(解答用紙に書きなさい)

したがって、正方形を $n$ 個つくるのに必要なストローの本数を表す式は $3n+1$ になる。

**【正答例】** (1) 16本 (2)  $4n - (n-1)$  (3) 1つの囲みにストローが3本ある。その囲みが $n$ 個あるので、この囲みで数えたストローの本数は $3n$ 本になる。このとき、左端に囲まれていないストローが1本あるので、必要なストローの本数は $3n$ より1本多い。

正答率：(1) 85.8%、(2) 32.5%、(3) 43.1%

(中学校2年生)

- 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる。

9 (2) 表2は、51人分の記録から平均値、中央値、最頻値を求めたものです。光さんは、51人の記録を大きい方から順に並べたとき、自分の記録が26番までに入っているか、表2の代表値を使って調べました。

次のア、イから正しいものを1つ選びなさい。また、それが正しいことの原因を、表2の代表値を使って説明しなさい。

ア 26番までに入っている。 イ 26番までに入っていない。

表2

平均値 (m)	14.8
中央値 (m)	16
最頻値 (m)	14

**【正答例】** 中央値が16mより、投げた記録の大きいほうから26番目の人の記録が16mということになる。光さんの記録は15mであるから、その値より小さいため、26番までに入っていない。

正答率：30.4%

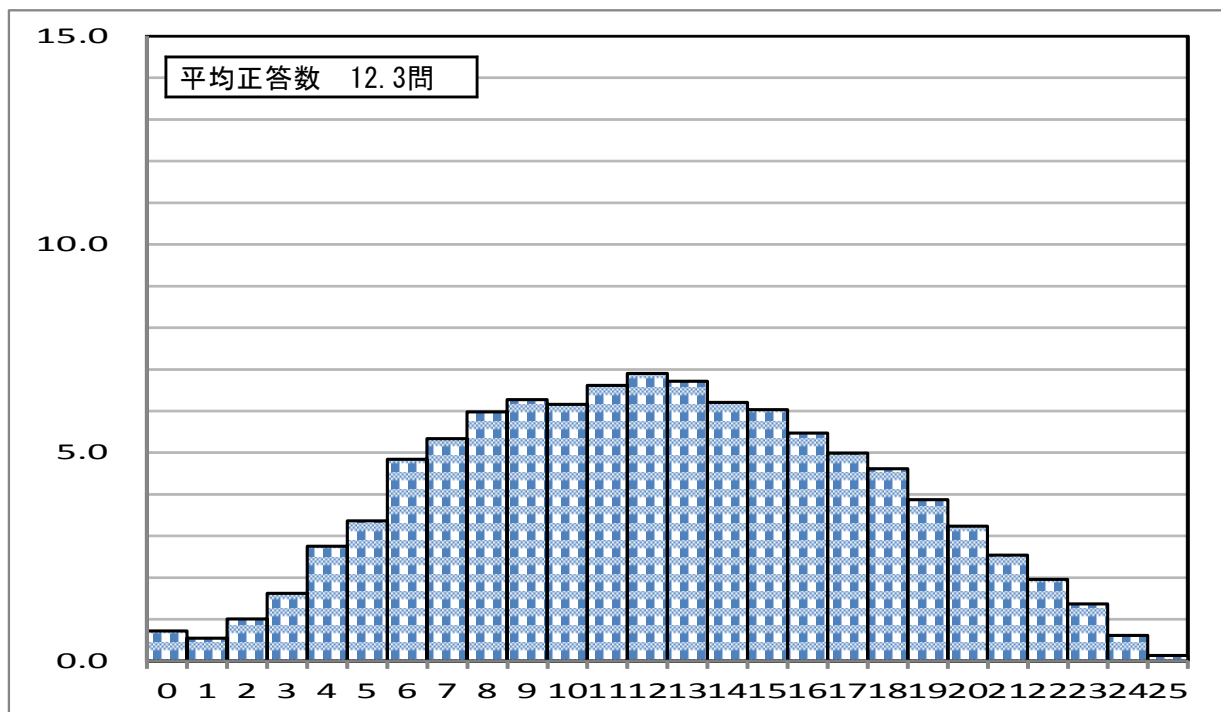
### (3) 社会

#### 【第2学年】

実施生徒数	10,481 人
設問数	25 問
平均正答率	49.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	11	53.2
	主として「活用」	14	45.4
学習指導 要領の 領域等	世界の地域構成	2	63.9
	世界各地の人々の生活と環境	3	71.1
	世界の諸地域	3	25.8
	世界のさまざまな地域の調査	1	39.8
	日本の地域構成	2	37.3
	世界と比べた日本の地域的特色	2	55.9
	歴史のとらえ方	4	65.3
	古代までの日本	3	35.9
	中世の日本	4	42.1
	近世の日本	1	46.9
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	8	38.2
	資料活用技能	6	57.6
	社会的事象についての知識・理解	11	52.5
問題形式	選択式	15	61.9
	短答式	5	34.7
	記述式	5	25.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 写真や資料から必要な情報を正しく読み取ることに成果が見られる。
  - ・写真や資料から温帯の特色を読み取ること (2)(1)88.3%
- 時代ごとの主な人物や出来事を理解することに成果が見られる。
  - ・時代ごとの主な人物を理解すること (7)(2)74.6%
  - ・豊臣秀吉が行った政策を理解すること (9)(3)75.3%
- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。
  - ・資料からヨーロッパの諸国がEUに加盟している理由について、説明することができ。 (3)(3)12.1%
- 示された条件に従って、社会的事象の特徴等について説明することに課題が見られる。
  - ・藤原氏が勢力を伸ばした理由を説明すること (9)(1)19.2%
- 記述式問題に課題が見られる。
  - ・日本との時差をもとに、現地時間を求め、求め方を説明すること (中2) (5)(2)13.5%
  - ・日明貿易で勘合が使われた目的を説明すること (中2) (8)(1)35.3%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)



社会 【中学校2年生】

- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。

③ (3) ヨーロッパの多くの国がEUとして結びついている理由を、資料2をもとにして、文中の(い)に合うように述べなさい。  
 <会話文は略>

資料2	面積(万km <sup>2</sup> )	人口(億人)	GDP(兆ドル)
EU (加盟国合計)	432.6	5.1	16.4
アメリカ	983.3	3.3	19.4
中国	960.0	13.9	11.2

【正答例】  
 (3) 一つ一つの国の面積が小さく、人口も少ないため、複数の国がまとまって、アメリカや中国などの経済大国に対抗する。

正答率：12.1%

- 示された条件に従って、社会的事象の特徴等について説明することに課題が見られる。

⑨ (1) 下線部①について、京都に都があった平安時代は、藤原氏が政治の実権をにぎっていた。資料5を参考に、藤原氏が実権を握ることができた理由を述べなさい。

【正答例】  
 (1) 娘を天皇の后にして、生まれた子どもを次の天皇にしたから。

資料5

正答率：19.2%

- 記述式問題に課題が見られる。

⑤ (2) 資料3の空欄に当てはまる、ジョンさんがアメリカのロサンゼルスに到着した時の現地の日時を、午前・午後を明確にして答えなさい。解答欄には、どのように考えて答えたか、途中の計算を含めて説明すること。

資料3

【行き先】アメリカのロサンゼルス(西経120度が標準時)  
 【行き方】

- ・岩国錦帯橋空港を1月1日午前9:20に出発(国内線)
- ・羽田空港に午前10:55に到着
- ・羽田空港から成田空港まで電車で移動
- ・成田空港に午後1:30に到着
- ・アメリカに向けて、成田空港を同日の午後4:20に出発(国際線)ー9時間50分ほど飛行機に乗るー
- ・アメリカのロサンゼルスに、現地時間の( 月 日 時 分)に到着

【正答例】  
 (2) アメリカのロサンゼルスは、西経120度なので、日本の標準時子午線とは255度の差がある。15度で1時間の時差があるため、255度で時差は17時間となる。成田空港を午後4時20分に出発した時、現地時間は17時間前の12月31日午後11時20分となる。9時間50分ほど飛行機に乗るので、これを加えると1月1日午前9時10分となる。

正答率：13.5%

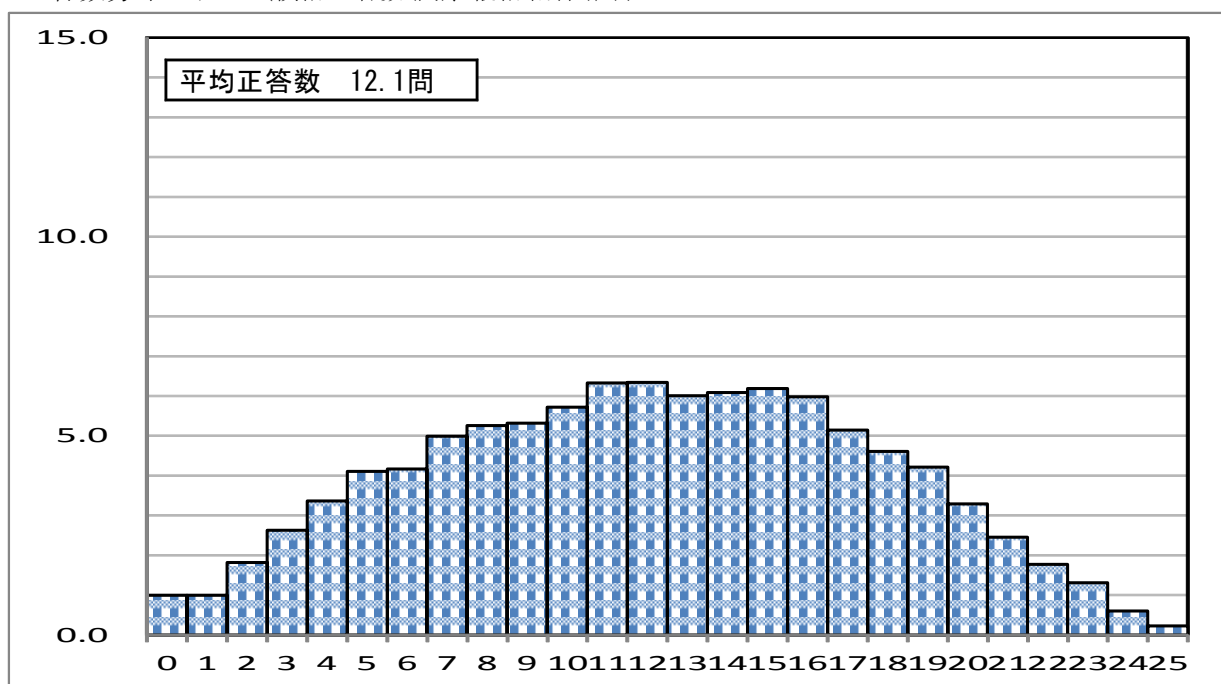
(4) 理科

【第2学年】

実施生徒数	10,414 人
設問数	25 問
平均正答率	48.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	51.4
	主として「活用」	6	38.9
学習指導 要領の 領域等	物質	9	47.9
	エネルギー	3	51.1
	生命	7	57.8
	地球	6	36.7
評価の 観点	科学的な思考・表現	9	44.7
	観察・実験の技能	5	46.5
	自然事象についての知識・理解	11	52.2
問題形式	選択式	8	46.8
	短答式	10	57.0
	記述式	7	37.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

### 【結果から見られる成果と課題】

- 植物に関する基本的な用語を理解することに成果が見られる。
  - ・葉の内部の細胞の中に見られる緑色の粒が葉緑体であることを理解すること (1)(2)91.8%)
  
- 物質の識別方法とその結果の見取り方を理解することに課題が見られる。
  - ・炭酸水素ナトリウムが熱分解されると気体が発生することについて説明できること (2)(2)23.9%)
  - ・石灰岩とチャートを識別する方法を理解すること (6)(2)19.1%)
  
- 火成岩やたい積岩の特徴を理解することに課題が見られる。
  - ・火成岩の組織の違いを理解すること (6)(1)30.1%)
  - ・示準化石の定義とその生物が生きていた時代について理解すること (6)(3)26.3%)
  
- 学習内容と身の回りの生活との関連を認識することに課題が見られる。
  - ・化学かいろが酸化による発熱反応を利用していることを理解すること (7)(3)25.6%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【中学校2年生】

● 物質の識別方法とその結果の見取り方を理解することに課題が見られる。

6 図1は、ある地域の地表に現れた地層を観察した結果を示した模式図である。(1)～(3)の間に答えなさい。

図1

図2

(2) 地層に含まれる、生物の遺骸でできた堆積岩がチャートではなく石灰岩であることを確かめたい場合、どのような方法で調べ、どのような結果であれば石灰岩といえるか。その方法と結果を答えなさい。

**【正答例】**  
 方法 (うすい) 塩酸をかける。  
 結果 二酸化炭素(気体)が発生する。

正答率：19.1%

● 学習内容と身の回りの生活との関連を認識することに課題が見られる。

7 化学かいろのしくみについて調べるため、図1のように3種類の物質(鉄粉、活性炭、食塩水)をよく混ぜ合わせ、5分ごとに混ぜ合わせたものの温度を測定した。次のグラフはそのときの温度変化を表している。(1)～(3)の間に答えなさい。

図1

時間 [分]	温度 [°C]
0	30
5	70
10	68
15	58

(3) 市販の化学かいろの包装を開けてしばらく置くと、化学かいろは温かくなる。この理由を「化学かいろの包装を開けると、」の言葉に続けて、簡潔に説明しなさい。

**【正答例】**  
 化学かいろの包装を開けると、鉄粉が酸素とふれあって化学反応が起こり、熱を周囲に出すから。

正答率：25.6%

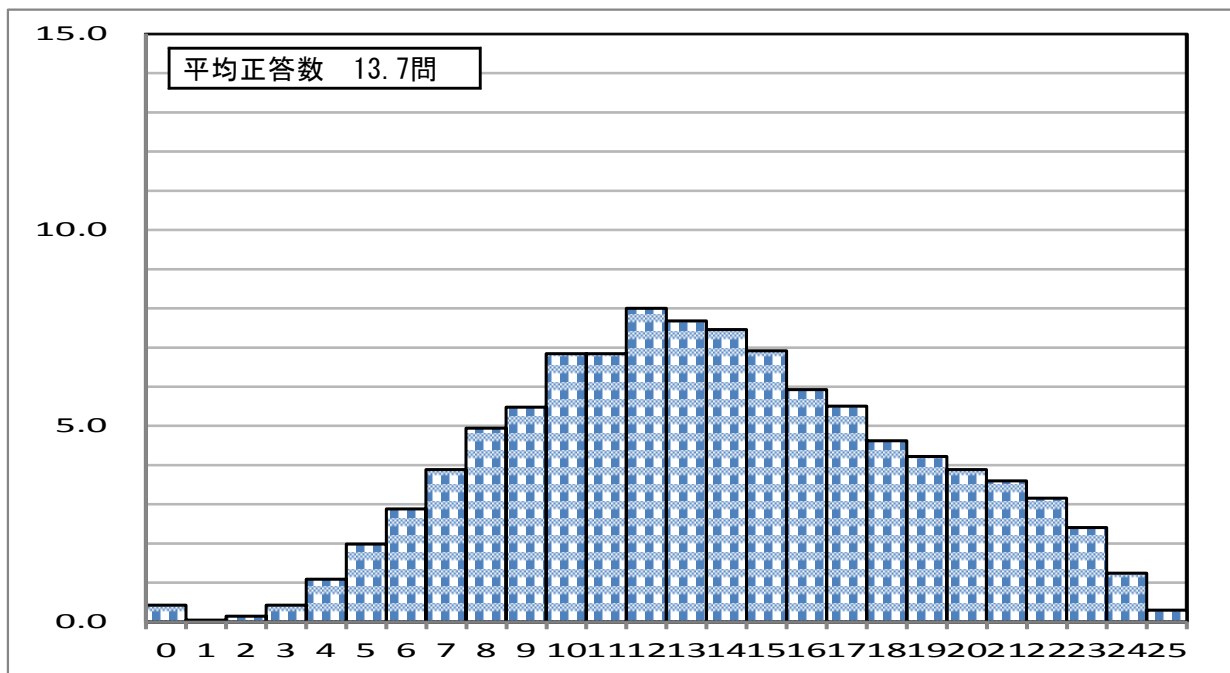
(5) 英語

【第2学年】

実施生徒数	10,418 人
設問数	25 問
平均正答率	54.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	64.3
	主として「活用」	6	23.8
学習指導 要領の 領域等	聞く	8	83.0
	読む	11	50.8
	書く	6	23.8
評価の 観点	表現	6	23.8
	理解	16	69.1
	言語・文化	3	38.8
問題形式	選択式	16	67.7
	短答式	3	46.2
	記述式	6	23.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶことは、相当数の生徒ができています。
  - ・絵の中の人物の動作を正しく表現した英文を聞き取ること (1)97.7%
- 英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶことは、相当数の生徒ができています。
  - ・英語で書かれたチラシを読み取り、昼食を食べることができる場所を尋ねる疑問文に答えること (5)86.8%
  
- 文脈に合うように内容を考えて、英文を書くことに課題が見られる。  
(場面に応じた表現)
  - ・カバンをどのように手に入れたのかを尋ねる英文を書くこと (7)15.5%
  - ・習字教室に一緒に行ってもよいか許可を求める英文を書くこと (7)25.8%
- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で質問に答えることに課題が見られる。
  - ・メール文の内容を読み取り、相手の国で新学期が始まる月を答えること (8)23.6%
- 条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書くことに課題が見られる。
  - ・メール本文中の“Many friends asked me about my stay in Japan.”という英文の前後を読み取り、メールの書き手が友人から尋ねられたと思われる質問を英語で書くこと (8)23.0%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

英語【中学校2年生】

- 文脈に合うように内容を考えて、英文を書く。

7 次のそれぞれの対話文の（ ）に合う3語以上の英文1文を書き、会話を完成させなさい。

(1) 【場面】 ナツミは登校中にALTのブラウン先生に会いました。

Mr. Brown: Hello, Natsumi. You \*look happy.

Natsumi: Look! This is my new bag.

Mr. Brown: Nice bag! ( )?

Natsumi: Well, my \*aunt \*gave it to me. Yesterday was my birthday.

Mr. Brown: Oh! Happy birthday, Natsumi!

(注) look : ~のように見える aunt : おばさん gave : 贈った

【正答例】 Where did you get (buy) it / How did you get it / Who gave it to you など

正答率 : 15.5%

- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で質問に答える。

8 次は、ニュージーランドに帰国したキャシーがクラスメートだったユウジに書いたメールです。メールを読んで、下の問いに答えなさい。

\*Date : February 1, 2018 (Thursday)

\*Subject : I'm in \*New Zealand!

Hi, Yuji. How are you?

School started last week. I study Japanese every day. In the first Japanese class, I talked about Japan and my school \*life in Japanese. I \*said to my friends, "Nihon no minasan wa totemo shinsetsu desu." My friends were very \*surprised at my Japanese.

(a) Many friends asked me about my stay in Japan.

\*By the way, how was your \*trip last week?

Where did you go? What did you do there with your family? Please tell me!

Can you \*send me some pictures of the trip?

\*Best,

\*Cathy

(2) ニュージーランドの新学期が始まるのは何月か、英語で答えなさい。

【正答例】 January

正答率 : 23.6%